

アッシュの同調実験

大森拓哉ゼミ 2年

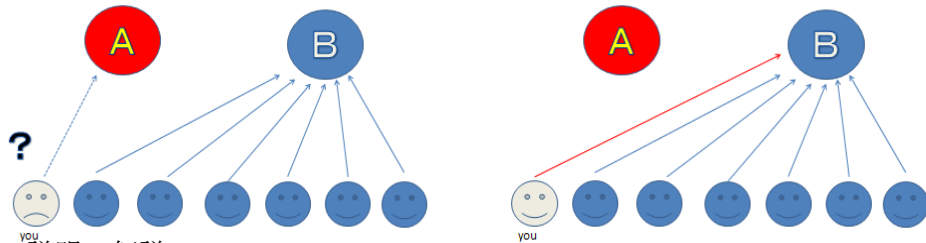
21211019 池田周平 (21211019si@tama.ac.jp)

21211122 串田拓海 (21211122tk@tama.ac.jp)

21211050 遠藤雅英 (21211050me@tama.ac.jp)

1. 同調とは

自身ではAを選ぶつもりが、大勢の周りに影響されて結果Bを選んでしまう現象。
同調とは

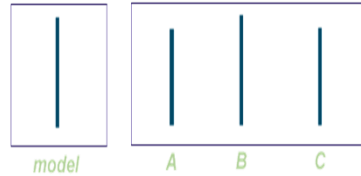


2. 実験内容の説明・仮説

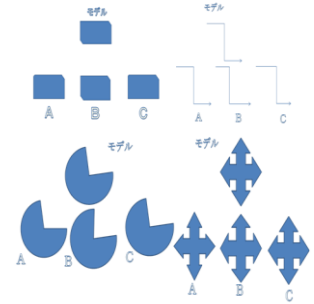
実験内容

- 明らかに答えのわかる問題を被験者に出し、用意している複数の仕掛け人(サクラ)と一緒に問題を受けさせる。
- 仕掛け人→被験者の順で回答させる。そのとき、仕掛け人は皆間違っているほうを答える(Aが正解ならBと)。
- 最後に被験者が答えるとき、被験者はどう答えるか？

アッシュの同調実験



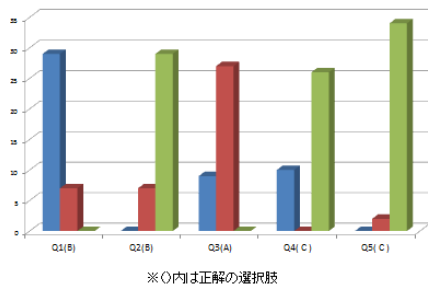
Q: 右と左で同じ長さのものを当ててください。



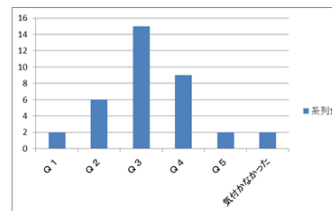
仮説：アッシュの同調は成立する。

3. 結果・考察

集計結果



どこで実験に気づいた？



結果：同調には個人差があり、問題を重ねてしまうと実験がばれてしまうことも。また、仕掛け人の数によって結果は変わるのかを試してみたい。